

令和2年度原薬工オンラインセミナー（第19回研修会）総括

例年、様々な講師の方々にご講演を頂き、また会員同士の交流の場として開催してきた研修・懇談会につきまして、総務経済委員会では2020年度は10月開催に向け準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み止む無く中止と致しました。

代替案としてWebによるセミナーの検討を行い、12月15日に「令和2年度原薬工オンラインセミナー」を開催致しました。

日 時：2020年12月15日 14:00～17:00

会 場：WEBによるオンラインセミナー（化学工業日報社協力）

参加者：141名（63社）

開会挨拶（富田 純弘 会長）



<富田 会長>

演題1.「ジェネリック医薬品について－原薬を中心に－」

演者：日本ジェネリック製薬協会品質委員長 豊田 弘先生（沢井製薬）

ジェネリック医薬品の開発の概要、その中で特に重要な原薬製造業者選定のプロセスを説明頂きました。

また、ジェネリック医薬品数量シェア80%時代にあつて、品質確保とともに安定供給に対する責任も増大している中で、演者の会社で行っているジェネリック医薬品の開発とともにこれからの戦略などもご紹介頂きました。



<豊田 講師>

演題2.「固体触媒反応場を有効活用した連続精密生産プロセスの開発」

演者：日本プロセス化学会 会長 佐治木 弘尚 先生

演者の研究室（岐阜薬科大学）で展開している、固体触媒反応場を有効活用した連続精密生産プロセスを目指す、環境・安全・コスト・時間フレンドリーな反応の実例を紹介され、「無溶媒固体混合反応」と「固体触媒の連続フロー反応」のプロセス化学的意義と概要をご紹介頂きました。



<佐治木 講師>

演題3.「令和元年度発出の薬事関連通知の主要項目に関する要点の解説」

演者：原薬工法規委員会

令和元年度に発出された通知やガイドラインの中から、薬機法の一部改正の内容や、日局関連通知の内容を中心に、その概要や留意点をわかりやすく解説して頂きました。



<宮内 講師>



<宮崎 講師>



<片野 講師>

司会進行・閉会挨拶（桂 良太郎 総務経済委員長）

研修会開催にあたり、タイムリーな話題をご講演いただきました豊田弘様、佐治木弘尚様、法規委員会の皆様、また、オンライン研修会の運営にご協力いただきました化学工業日報社の皆様に厚く御礼申し上げます。

研修会の趣旨に賛同し、ご参加下さいました会員企業の皆様に感謝申し上げます。また、アンケート調査へのご協力有難うございました。



<桂 委員長>